

Tokyo Kosei Wind Orchestra

「特別演奏会」

指揮 汐澤安彦
演奏 東京佼成ウインドオーケストラ

初代常任指揮者 汐澤安彦を迎えて

2025 2.17 MON
開演 19:00 (開場 18:15)

東京オペラシティ
コンサートホール：タケミツメモリアル
〒163-1403 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号 TEL 03-5353-0788

アルヴァマー序曲 / J. バーンズ
序曲「バラの謝肉祭」 / J. オリヴァードーティ
風紋 (原典版) / 保科洋
アルメニアン・ダンス パートI / A. リード
狂詩曲「スペイン」 / E. シャプリエ / M.H. ハインズレー 編
バンドのための「ゴジラ」ファンタジー / 伊福部昭 / 和田薫 編
交響詩「ローマの松」 / O. レスピーギ / G.M. デュカー 編

TICKET (全席指定・税込)

S席: ¥6,000 A席: ¥5,000 B席: ¥4,000 U25: ¥3,000

※25歳以下の方のための割引サービスです。公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。

▶ 会員先行: 2024/10/16(水)

▶ 一般発売: 2024/10/23(水)

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能!

※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30

土・日・祝を除く

プレイガイド

- チケットぴあ
- ローソンチケット
- e+(イープラス)
- 東京オペラシティチケットセンター
03-5353-9999 (月曜定休)

主催: 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ 後援: 一般社団法人全日本吹奏楽連盟 / 公益社団法人日本吹奏楽指導者協会(JBA) / 公益財団法人日本音楽教育文化振興会 / 一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。 ※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。 ※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

令和に轟く初代の響き

中橋愛生 (TKWO楽員)

日本人指揮者のレジェンド、汐澤安彦。管弦楽分野・教育分野と、その功績は枚挙にいとまがないが、特に吹奏楽分野での数々の名演は珠玉のものである。まだまだ吹奏楽のレパートリーが不足していた1970年代より30年近くにわたってTKWOをはじめとする数々の吹奏楽団と毎年行っていた膨大な量の新譜レコーディングは、今も変わらぬ選曲の礎となっている。そして何よりもライブ演奏での「熱量」の高さは他の追随を許さない。教え子たちが中心となって定期的に行う管弦楽・吹奏楽の公演「SIOフィル」に多方面の音楽家たちが詰め掛けるのは、その共感の顕れだ。

そんな汐澤がTKWOを指揮しライブで演奏するのは久しぶりだ。2022年3月の特別演奏会での出演も予定されていたものの実現できなかったため、まさに待望の共演となる。

前半は汐澤が広めた、と言っても過言ではない吹奏楽オリジナル作品の数々。前述のように汐澤は膨大な数の吹奏楽作品を日本に紹介してきたが、今回はその中でも特に汐澤が再演を重ねてきた曲が並ぶ。かつて名盤に刻まれたバンス『アルヴァマー序曲』での快演やオリヴァドーティ『バラの謝肉祭』での荘重な表現を思い起こして胸が熱くなる古くからの吹奏楽ファンは多いだろう。そこに連なる保科洋『風紋』は原典版での演奏。懐かしさのなかに新しさが響く選曲はまさに象徴的で期待が高まる。その上で、もはや古典的名曲とされるリード『アルメニアン・ダンス パートI』がどう料理されるのか、興味は尽きない。

後半は汐澤の真骨頂である管弦楽の編曲作品から。シャブリエ『スペイン』は数ある汐澤のレパートリーの中でも十八番と言えるもので、変幻自在な汐澤の表現力が存分に味わえる一曲。伊福部は汐澤がその作品の演奏をライブワークとして位置付けている作曲家。その最も有名な曲である映画音楽『ゴジラ』を再構成した吹奏楽編曲を汐澤指揮の実演で聴ける機会は貴重だ。そして最後を飾るのは汐澤の壮大な世界観が存分に発揮されるレスピーギ『ローマの松』。パンダを伴っての今回の演奏は、一大スペクタクルとして多くの人の記憶に残ることになるだろう。

TKWOの初代常任指揮者を務めていた1972年頃とは楽団員は入れ替わっているが、汐澤が刻んだ魂は根底にある。当時と変わらぬ熱量を保ちつつ86歳となり益々の円熟味が加わったタクトが、現在のTKWOからどのような「汐澤節」を引き出すのか。令和の汐澤を聴き逃すな。

PROFILE

汐澤 安彦

Yasuhiko Shiozawa



東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子登の各氏に師事。当初、バス・トロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら、桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)にて最高位を獲得。後に、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーにてさらに指揮者として研鑽を積む。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。中でもオペラ「夕鶴」(團伊玖磨作曲)の指揮は数多い。これまで東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として、永年、その任にあった。他方、ソニーをはじめ、東芝、ビクター、キング、ファンハウス、などで制作された数々の録音、録画等は余りにも多く、枚挙にいとまがない。1999年、日本吹奏楽学会／第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。2014年、2017年、ベルリンフィルハーモニーホールにて、再度、日独親善友好記念「第九コンサート」を指揮。オーケストラはもとより、吹奏楽界など幅広く活躍、プロの団体から学生・一般市民団体まで分け隔てなく「音楽に情熱を注ぎ込む」…その烈しいまでの熱い姿勢には定評がある。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。

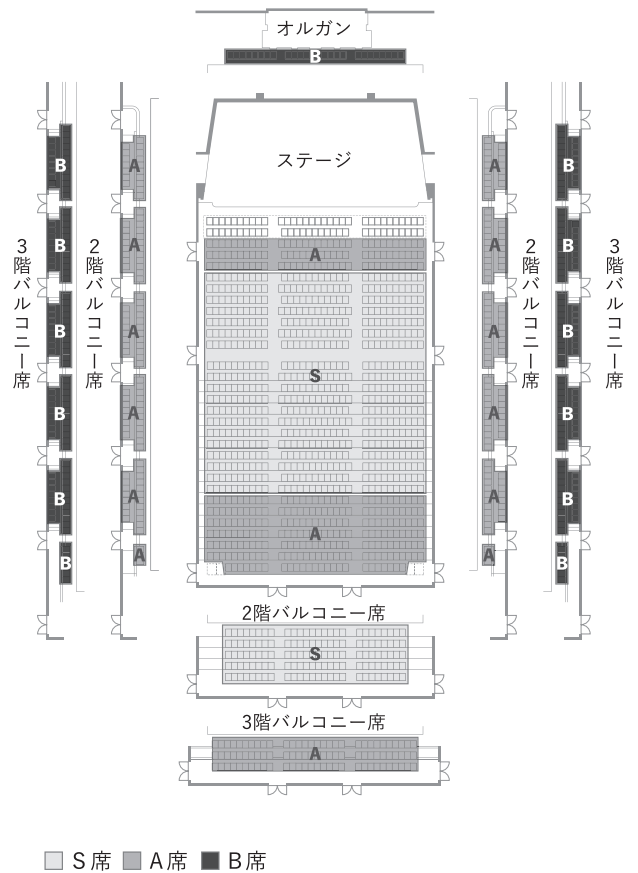
東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra



1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親を擁している。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し、高い音楽芸術性を創出し、多くの人々が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

■ 座席表



■ S席 ■ A席 ■ B席

東京オペラシティ コンサートホール： タケミツメモリアル

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 TEL:03-5353-0788

●京王新線 初台駅東口下車 徒歩5分以内